

女性のためのヘルスケア みらい通信

みらいウイメンズクリニック
院長 荏原 弘光

はじめまして、みらいウイメンズクリニック院長、荏原弘光と申します。当院は、2011年12月印西牧の原駅南口にオープンしました。以来、ここから500名以上の新しい命が「みらい」に向けて巣立っていきましました。これもひとえに地域の皆様方の協力とご支援の賜物と、深く感謝を申し上げます。

開院以来、病院設備の充実やスタッフの教育などにも取り組んでまいりました。現在、病院のシステム構築が軌道に乗り、次は、地域の皆様方への情報発信を、と考えておりました時に、月刊千葉ニュータウン紙の厚意により、定期的情報発信の場を頂くことが出来ました。これからは「女性のためのヘルスケア みらい通信」として、毎回テーマを決めて皆様に情報を提供させて頂きます。第一回目は「チーム医療」をテーマにお話をさせて頂きます。

みらいウイメンズクリニックは診療の理念として「患者さまを主体とした医療の提供と、

チーム医療

(第1回)

～安全・安心・快適な医療環境のために～

安全・安心・快適な医療環境の構築」を掲げております。そしてこの理念を達成するために、「患者さまを中心に医療スタッフが連携して医療を行うチーム医療の実践」を基本方針の一つとしております(詳細につきましては当院HPをご覧ください)。
<http://www.miraiwcl.com>

チーム医療とは、医師、助産師、看護師、臨床検査技師、管理栄養士、医療クラーク、看護助手、保育士、全てのスタッフが、お互い緊密に連携することで患者さまを主体とした医療を実現しようというものです。出産や治療など、医療における患者さまの目標達成には、患者さまご自身の積極的な参加と、医療スタッフとの信頼関係が必要不可欠です。みらいウイメンズクリニックのチーム医療では、患者さまはチームの一員として中心に位置し、スタッフは患者さまが主体的に医療に参加できるように、最善の努力を



行います。また、当院は地域の基幹病院との医療連携にも力を注いでいます。

現在、日本医科大学千葉北総病院、東京女子医科大学八千代医療センター、東邦大学医療センター佐倉病院、成田赤十字病院と密接な医療連携を保ち、外来紹介や母体搬送、新生児搬送を引き受けていただいております。連携施設にも直接出向き、顔の見えるお付き合いができるように努力をしております。

第2回目は「産後ケア」をテーマに取り上げたいと思います。現代の日本社会は核家族化により、産後のお母さんや赤ちゃんが孤立してしまう現状があり、「産後ケア」の必要性が言われ始めています。次回は、「産後ケア」に対するみらいウイメンズクリニックの取り組みについてご報告させて頂きます。